

令和2年度第3回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和3年2月16日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

また、平素から本市の情報発信に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症につきまして、発生から1年以上が経過しましたが収束の見通しは立っておらず、社会経済に大きな影響をもたらしております。本市においては、皆様のご協力により大規模な感染拡大に至っておりませんが、引き続き、マスクの着用や密を避けるなど、新しい生活様式の実践により、感染予防の継続をお願いいたします。

昨年末の市長就任から2か月が経過いたしました。多くの市民の皆様のご意見を伺い、市政の現状を把握してまいりました。人口減少対策をはじめ、早急に取り組まなければならない課題は多くありますが、特に急がなければならないのは、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と災害からの復旧であります。都市計画区域内の雨水排水計画なども含め、危機管理の徹底を図ってまいります。

また、重要な課題として移動に困らない公共交通の見直しをはじめ、新見駅周辺などの都市基盤整備、子育て世代を応援する取組、市内高校支援など、将来にわたり夢と希望を感じられるまちを創ることが私の責務だと改めて感じております。

その強い思いを持ちながら、日々生きがいと住んでいてよかったと実感していただけるまち、将来の世代が夢と希望を感じられるまちの実現に向けて取り組んでまいります。

それでは、令和3年度に予定しております主要な事業および3月市議会定例会へ提出する案件につきましてご説明申し上げます。

まずは、「PCR検査実施事業」についてであります。

令和2年度、行政検査対象外となった方に対して、市独自のPCR検査を実施しておりますが、新たにPCR検査を希望される方に対してPCR検査費用の助成を行います。PCR検査の費用助成をすることで、新型コロナウイルス感染拡大防止を図り、市民の不安を軽減してまいります。

また、関連する「新型コロナウイルスワクチン接種事業」につきましては、先日2月1日に、新たに新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置し準備を進めております。

本市で実施する接種につきましては、現在、新見医師会と協議をしながら準備を進めており、今後、国のスケジュールが決定次第、確実に進めてまいります。

次に「災害関連事業」についてであります。

本市は、平成30年7月豪雨、台風第24号、令和元年9月集中豪雨などの災害により、大きな被害が発生しました。

市民の皆様が安心して安全に暮らせるために、防災・減災対策事業、災害復旧事業を実施してまいります。

まず、防災・減災対策として「雨水対策河川改良事業」を行います。

これは、令和元年の集中豪雨で災害の要因となった太田谷川、風木谷川の氾濫を防止するための対策工事を実施するものです。令和3年度は現地測量や工事設計等を行い、早期の工事着手を目指してまいります。

このほか、老朽化農業用ため池防災減災事業などを実施し減災に努めてまいります。

次に、「防災マップ作成事業」についてであります。県が土砂災害警戒区域及び高梁川の浸水想定区域の見直しを行ったことから、その見直しを反映し更新するものであります。この防災マップには、内水ハザードマップやため池ハザードマップも併せて掲載することとしております。これにより、災害時の迅速な避難等が図れるものと考えております。

引き続き、平成30年7月豪雨災害や令和元年9月集中豪雨災害の災害復旧事業として「道路橋りょう等災害復旧事業」「農地農業用施設災害復旧事業」を行ってまいります。これにより令和3年度で、平成30年7月豪雨災害、令和元年9月集中豪雨災害のすべての工事を発注する予定となります。

次に「地域公共交通計画策定事業」についてであります。

人口減少・少子高齢化が進行する中で、地域にとって望ましい持続可能な交通ネットワークの姿を明らかにするマスタープランである「新見市地域公共交通計画」を策定するため、事前調査を行います。現状やニーズの把握に努め、市民の皆様が利用しやすい交通体系を目指してまいります。

次に「新見駅周辺まちづくり検討事業」についてであります。

新見市の玄関口であるJR新見駅の周辺地域について、にぎわい・交流の創出及び子育てを支える都市環境づくりを目指し、新見駅周辺まちづくり検討委員会を設置しております。現在、市民・行政による協働のまちづくりを実現するため、公募市民・地域住民・地元商店会・大学生・高校生等によるワークショップを開催しております。今後、ワークショップやアンケート調査での意見を基に幅広い観点からの意見を反映させながら検討を進め、新見駅周辺まちづくりの基本方針を策定してまいります。

次に、「子育て支援金事業」についてであります。

これまでも第1子第2子に1万円を支給するなど、子の誕生を祝福するとともに、次代を担う子ども達の健やかな成長と明るい家庭の構築を支援してまいりました。

令和3年度から子育て支援金を、出生児一人につき10万円に拡充いたします。これまで以上に、経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実に努めてまいります。

次に「哲多地域認定こども園整備事業」についてであります。

本市ではこれまで、多様化する子育てニーズに対応し、就学前教育・保育の充実を図るため、幼稚園機能と保育所機能を併せ持つ認定こども園の整備を進めてまいりました。哲多地域への認定こども園整備のため、令和3年度に用地購入や造成、建築工事の設計を行い、令和5年4月からの開園を目指してまいります。

次に、「高校魅力化推進事業」についてであります。

令和2年度から学校連携コーディネーターを配置し、高校生の地域課題探求の活動支援をはじめ、高校と地域・小中学校・大学・地元企業をつなぐ活動に取り組み、ふるさとを愛し支える人材の育成に努めているところであります。

令和3年度は、市内高等学校のさらなる魅力向上を図るため、学校が実施する地域資源の活用や地域課題の解決を目指した取組を支援してまいります。

次に「地域運営組織活動拠点施設整備事業」についてであります。

新見市まちづくり基本条例に基づく住民自治を基本とした協働によるまちづくり（小規模多機能自治）を推進するため、上熊谷地区の「地域運営組織」として設立された「支え合う上熊谷をつくる会」の活動拠点となる施設の整備を行ってまいります。

活動拠点施設の整備につきましては、エリア内の公民館や空き校舎などの既存施設を有効に活用し、必要な改修等を行ったうえで整備することを基本としております。今後も、地域課題の解決を図りながら地域づくりに取り組む「地域運営組織」を支援してまいります。

また、そのほかにも令和3年度におきまして、大規模改修工事が完了する新見千屋温泉など観光資源をより魅力的にPRするため観光パンフレット、ホームページをリニューアルするほか、温泉入浴助成事業、羅生門ガイド養成事業、市営斎場「明月苑」改修事業、森林整備事業などに取り組むこととしております。

令和3年度の一般会計当初予算は、総額230億3,531万円を計上しております。

また、令和2年度一般会計補正予算では、「道路除雪事業」を増額したほか、各種事業費などの確定に伴い、総額8億3,643万円を減額しております。

私からは以上でございます。